

名古屋大学 農学国際教育協力研究センター ニュース

平成27年12月1日発行 通巻28号(年2回発行)

発行/名古屋大学 農学国際教育協力研究センター
〒464-8601 名古屋市千種区不老町
TEL 052-789-4225(受付) FAX 052-789-4222
<http://iccae.agr.nagoya-u.ac.jp/index.html>
e-mail:iccae@agr.nagoya-u.ac.jp

第4回JICA-JISNAS フォーラム開催のお知らせ

第4回JICA-JISNASフォーラム「教育・研究力の高度化に向けた人材育成を通じた大学の外交力(仮題)」が下記の日程で開催されます。これまで、日本の高等教育機関が有する知識と技術に基づく知的支援が途上国の学術振興に対して一定の貢献を果たしてきたことは間違いのないといえるでしょう。また、かつて若手人材育成事業等により日本の教育研究機関で学んだ留学生が、その後、母国において教育研究行政のトップとして機関の意思決定あるいは中央・地方政府の政策を担う立場となって活躍している事実を改めて注目すれば、大学は極めて重要な「外交力」を有していると理解できます。今回のフォーラムは、この大学の外交力を有効に機能させるべく、将来を見据え、組織的に取り組んでいくための方策を議論する場にできればと企画されたものです。詳細については、近日中にセンターホームページ等でご案内いたします。

開催日：2016年3月15日(火)

場 所：国際協力機構(JICA)市ヶ谷ビル 6F
JR中央線・総武線「市ヶ谷」徒歩10分
都営地下鉄新宿線「市ヶ谷」

A1番出口 徒歩10分
東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷」

6番出口 徒歩8分

時 間：13:30~17:30(終了後に交流会あり)

主 催：農学知的支援ネットワーク(JISNAS)
国際協力機構(JICA)農村開発部

共 催：国際農林水産業研究センター(JIRCAS)

後 援：名古屋大学農学国際教育協力研究センター

平成27年度JICA課題別研修 「アフリカ地域稲作振興のための の中核的農学研究者の育成」

本研修は、昨年で終了した第1フェーズに続く第2フェーズ3年間の1年目として、7月10日~8月12日、農学知的支援ネットワーク(JISNAS)会員である大学の協力を得て実施されました。サブサハラアフリカ諸国のうち10ヶ国より12名が来日し、コア研修として稲作に関わる基礎的な知識や技術、PCM手法、日本における稲作振興のための技術開発と政策の関係等、名古屋大学フィールド科学教育研究センター東郷フィールドにて圃場の見学、稲作の機械化に関する講義と実習を行いました。また、愛知県新城市の四谷千枚田を見学し、我が国の伝統的な棚田に触れることもできました。その後、全国の7つの協力大学に移動し、受入教員の指導を受けながら専門性を高めた上で、締めくくりにして研究を効果的に進めるためのリサーチプラン立案に関するワークショップとリサーチプラン発表会を開催し、JICA筑波所管の別のアフリカ稲作研修



稲作の機械化に関する実習の様子



四谷千枚田訪問時の様子



PCM研修にて

も交え、協力大学の教員とともに活発な議論を展開しました。今後は、研修員と教員のネットワークのみならず、各国のCARD関係者も含めたコンソーシアムを構築し、研修員のフォローアップ、日本への留学や受入教員による現地指導、日本とアフリカの共同研究等も視野に入れた活動に発展させていきたいと考えています。

参加国：ブルンジ、コンゴ民主共和国、コートジボワール、エチオピア、ギニアビサウ、ナイジェリア、スーダン、タンザニア、ウガンダ、ザンビア

協力大学：岩手大学農学部、茨城大学農学、新潟大学農学部、岐阜大学応用生物科学科、京都大学大学院農学研究科、島根大学生物資源科学部、鹿児島大学農学部、三重大学大学院生物資源学研究科、三重大学国際交流センター、名古屋大学大学院生命農学研究科